

価値は意味から、意味は関係性から生まれる

構想設計革新イニシアティブ キックオフシンポジウム



■日時

2018年

3月14日(水)

13:00 ~ 17:30

定員40名
入場無料

■TV中継サテライト@大阪会場

マイドームおおさか

4階 研修室

上記会場にて本会場の様子をLIVE放映します。
サテライト会場の案内・参加申込みは裏面をご覧ください。

■基調講演



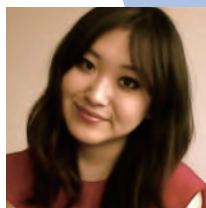
第一部

「構想設計の重要性とイニシアティブへの期待」

国立研究開発法人 科学技術振興機構

上席フェロー

吉川 弘之



第二部

「未来をつくる学びのデザイン」

株式会社 Laere(レア)

共同代表

クリエイティブ・プロセス・デザイナー

大本 綾

組織の壁を超えて 協業を加速する

そろそろ今までの手法と道具を見直しませんか？

社会や市場の変化、技術革新やグローバル化の流れで、「顧客価値の高い製品・システム・サービスで、顧客や社会の未来に寄り添い、事業創成や市場開拓にも繋がりたい。」というニーズが益々高まっています。「存在価値を高め、高いモチベーションで、チャレンジングな未来に能動的に関わる。」という働き方変革も望まれています。

我々の提唱する構想設計とは、納得感を持って未来の事業の方向性を決めるために、企画側だけではなく、実施側も入れ、時には顧客候補にも参加してもらい、チームの総意を結集して、設計仕様を導出するというものです。

従来、構想設計では「会議が非効率で時間が足りない」、「感覚や地理感の相互理解が不十分で深い議論が出来ない」、「上下関係や立場の違いで意見や提案が出しにくい」、「決定事項に納得感がなくモチベーションが低い」等の具体的な問題があり、その解決に資する研究開発を国家プロジェクト「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」等で行ってきました。

これらの研究成果を軸に、「構想設計というツールで組織や市場のイニシアティブを取る」同志を募り「手法や道具を見直し、組織の壁を超えて協業を加速する」革新を起こしたいという思いで構想設計革新イニシアティブを立ち上げます。

主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 / 共催：国立大学法人 東京大学 人工物工学研究センター

協力：大阪府産業デザインセンター、地方独立行政法人 大阪産業技術研究所

本会場に関する問合せ先：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 製造技術研究部門内 構想設計イニシアティブ事務局 <http://monozukuri.org/tide/>

構想設計革新イニシアティブとは？

対象者：「デザイン(企画)で競争力があり、販売力のある企業を目指したい」、「ものづくりの技術的優位性を市場競争力の優位性に繋げたい」、「顧客価値の高い製品・システムの開発をしたい」、「キーとなる構想設計を起点に、技術革新に留まらず、構想設計に関わる意識・行動の革新、デザイナーと工学屋のコラボの革新、世代間コラボ/地域共創などの流れの革新のきっかけとしたい」と思われている方、及びその周辺の方々(上司等)



構想設計革新イニシアティブ

メリット：「問題が自社だけではないと分かり外と繋がる」、「共通的方法論の把握により立ち位置が具体的になる」、「組織を超えた同志の顔が見える」など

■第一部

ものづくりの技術的な優位性を市場競争力の優位性に繋げるという観点から、構想設計とは何か、なぜ今重要なのか、どのような課題があって、どう解決したら良いのか、研究開発での問題解決の目処及びその効果はどのようなものか、実践への課題は何かについて、また、ものづくりの上流と下流の対話を促進しダイナミックな集想的思考を実現する新しい構想設計と展開のための組織を超えた同志の集まりとしてイニシアティブのあり方について、吉川先生の基調講演を起点に具体的な議論の展開やアクションのためのご講演を頂きます。

基調講演「構想設計の重要性とイニシアティブへの期待」 国立研究開発法人 科学技術振興機構 上席フェロー 吉川 弘之

東京大学教授、同総長、放送大学長、産業技術総合研究所理事長等を歴任し、日本学術会議会長、日本学術振興会会長、国際科学会議(ICSU)会長、国際生産加工アカデミー(CIRP)会長などを務める。工学博士。一般設計学、構成の一般理論を研究。それに基づく設計教育、国際産学協同研究(IMS)を実施。

■第二部

事業創成や市場反応など、不確実な未来に能動的に関わるために、立場の異なる方々の能力や知見、意識をうまく束ね、互いの反応やモチベーションを高めるにはどうすべきか、様々な課題の発見とその解決のための思考やマインドセット、具体的な方法と道具はどのようなものかについて、また、多様な背景や価値観をクリエイティブ資産に変え、未来を創る思考や技術、態度を育む学びのデザインについて、デンマークの事例に触れた大本様の基調講演を起点として、構想設計のヒントとなる実際の事例のご講演を頂きます。

基調講演「未来をつくる学びのデザイン」 株式会社 Laere(レア) 共同代表 クリエイティブ・プロセス・デザイナー 大本 綾

WPPグループの広告会社グレイワールドワイドで、アカウントエグゼクティブとして、P&Gを担当。ファブリーズ、レノア、ボールドのブランド戦略、コミュニケーション開発に携わる。デンマークのハイブリッド・ビジネス・デザインスクール KAOSPILOT の留学を経て、株式会社レアを設立。

■TV 中継サテライト会場参加申込みについて

お申込み方法

参加ご希望の方は、BMB サイト (<http://bmb.oidc.jp>) またはメール (bmb@oidc.jp) にて3月12日(月)までに、お申し込みください。なお、メールでお申し込みされる場合は、①会社名、②参加者名、③所在地、④電話番号をご記入願います。

会場

マイドームおおさか 4階 研修室 (大阪市中央区本町橋 2-5)

お問合せ先

大阪府産業デザインセンター BMB 事務局：川本
TEL：06-6210-9491 Mail：bmb@oidc.jp

- 13:00 開会挨拶「構想設計で組織のイニシアティブを取る!」
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
上席イノベーションコーディネータ
黒島 光昭
- 13:15 基調講演「構想設計の重要性とイニシアティブへの期待」
国立研究開発法人 科学技術振興機構 上席フェロー
吉川 弘之
- 14:00 講演 1「協業を阻害する壁を超えて創発に繋げる」
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 総括研究主幹
手塚 明
- 14:30 講演 2「熟練技術者の工程設計知識の抽出と体系化」
国立大学法人 東京大学 人工物工学研究センター 教授
栗山 幸久

15:00 休憩及びデモンストレーション

- 15:15 基調講演「未来をつくる学びのデザイン」
株式会社 Laere 共同代表 クリエイティブ・プロセス・デザイナー
大本 綾
- 16:00 構想設計の道具の活用「知恵を集めて縦割り組織と顧客を繋ぐ」
鹿島建設株式会社 建築設計本部 グループリーダー
田中 重良
- 16:20 デザインブレインマッピングの活用 1「職員の意識改革のための実験」
山形県工業技術センター デザイングループ
大場 智博
- 16:40 デザインブレインマッピングの活用 2「組織を論理的に導く道具」
豊国工業株式会社 鉄構本部技術部技監室 室長
下見 広司
- 17:00 今後の活動及び質疑応答

